

渡辺ハウジングOBの皆様と
未来のお客様にお届けする

やすらぎ通信

渡辺ハウジング
03-3959-8743



「師走」

早いですね。
この言葉を聞くと、残り少
なくなった日々を数えな
がら1年を振り返り、つい

反省ばかりが思い浮かびます。

年々時間の経過が早く感じられるのは、年令のせい
でしょうか。

友人や若い人達から「同じ!!、やっぱり早いよ」と
いう返事を聞くと少し安心する私があります。

皆さんにとって今年はどうな1年でしたか?

笑ったり泣いたり悲喜交々・・・

でも、元気に過ごせたことが一番の幸せだと感謝した
いと思います。

年末の大掃除や新年を迎える準備など
これからお忙しい時期を
迎えますが、どうぞお元気で
お過ごしくださいね!



私たちも大工です

今までは、割と長いお付き合いをしてきた大
工さん達を紹介させていただいてきましたが、
まだまだいるんです。

鎌田さん、大貫さん、真保さん、佐藤さん、
そして工藤さんや神さん、内田さん・・・
出身地も、青森、秋田、埼玉、東京とバラバ
ラ。

年齢も趣味も家族構成もそれぞれ違うけれど

思いは一つ。

「丈夫で長持ちし、ご家族が健康で安心して
暮らせる家、そしてみんなが喜んでくれる家
をつくる」こと。

そんな仲間がたくさんいます。

丁寧な心を込めたお住まいが、たくさん増
え、笑顔が広がることを願いながら、毎日頑
張っています。

長いお付き合いができますよう、これからも
どうぞよろしく願いいたします。



「年越し」

大晦日の夜から、新年の夜明けにかけて過ごすこ
と、またはその間の行事を「年越し」といいます。

大晦日は、1年の穢れを払い、
無事に過ごせたことに感謝する日でもあり、
古くは、心身を清めて家や神社にこもり、眠らず
に年神様を迎えるのが、本来の年越しでした。

今では、年越しの過ごし方も大きく変化しまし
たが、いつまでも忘れたくない日本の心豊かな慣
わしです。



1年を締めくくるこの
日は、家族と一緒に、
ゆっくりと過ごしたい
ものですね。

なんでそんなに

悲しい顔してるの



忘年会の席上で、旧友がこんな話を聞かせてくれました。

もう何年も前になるけど、
仕事に行き詰まり、毎日会社を辞めたくてしかたなくて、いつも
「今日こそ会社を辞めてやる」ということしか考えていない時があった。

ある日、乗り換え駅の通路で、寒いから温かい
コーヒーを買って飲んでいたら、
酔っぱらいのおじさんが近寄ってきて、何か言ってる。

「なんだ、朝から酔っ払って・・・
あっちに行けよ！」と思っていたら、
そのおじさんが言った。

「お兄ちゃん。なんでそんなに悲しい顔してるの？」

どっかに戦いに行く時のような顔してるよ。
あんたがそんな顔してたら、あんたのことを大事に思っていてくれる人は、きっと悲しいと思うよ」

その時の自分は、どんな顔をしていたんだろう。

「おじさんも色々なことがあったけど、
何とか生きてるよ。
元気が一番だよ。
笑ってみなよ」

急に言われたって無理・・・と思いつつも
にっと笑顔を作ってみた。

上手く笑えたかどうかはわからない。

でも、おじさんも笑って「いい顔だ」と言って
そのまま歩いて行ってしまった。

なんだかわからないけど、その時、涙が出そう
になった。

よっぽどひどい顔をしてたんだろうな。
見ず知らずの人が、自分の顔を見て心配して声
を掛けてくれた。
それなのに、最初は嫌な酔っぱらいのおじさん
なんて思って申し訳なかった。

その日から自分は変わったんだ。
生きていれば、辛いこと・悲しいこともある。
でも逆に楽しいこと、
嬉しいこともいっぱいある。



いつも明るい顔で過ごしていたら、
気持もきっと前向きになると
信じて、毎日頑張って仕事してる。
これも、あの時、見知らぬおじさんが声を掛けて
くれたおかげだと感謝している。

良い人に出会った友人は幸せですね。

「編集後記」

人との出会いって本当に不思議ですね。
素敵な出会いを期待しましょう。

明るい話題の少なかった1年でしたが、心と心をつなぐ糸をしっかりと結んでおけば、どんなことも乗り越えられる！

そんな強い気持ちを忘れず、健康で明るい日々を過ごしましょう。

この1年、「やすらぎ通信」をお読みいただき本当に有難うございました。

来年も引き続き、よろしく願いいたします。

どうぞ、よい新年をお迎えください



渡辺ハウジング 社員一同